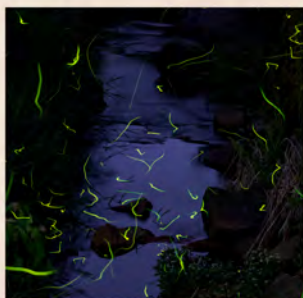




保養村会の清掃活動



せせらぎプロムナードの蛍



イベントを盛り上げる地元の皆さんによる伝統芸能



保養村会会長 宮崎正信さん

無数の蛍が飛び回るせせらぎ。静寂のなか耳をすませば聞こえてくる野鳥たちのさえずり。保養村の抱く豊かな自然に、あなたも癒された経験はないだろうか。美しい自然の背景にはそれを守る人たちがいる。保養村会のメンバーだ。

「今だってよそ者だって言われるんだから」。そう笑って話すのは、

ふるさととの自然そのままに
こどもたちの遊び場をつくりたい

保養村会会長の宮崎正信さん。兵庫県出身の宮崎さんは昭和60年ユースホステルでの勤務を命じられここ武雄にやってきた。美しい湖畔の景色と豊かな自然に魅了され、平成12年にはペンションピクニックを創業。武雄にくる人々をもてなしながら、地域の自然を守る活動を続けてきた。

縁もゆかりもない中で、最初はたくさんの苦労があったという。しかし、地域のためにひとつひとつ手を挙げ行動していく中で、仲間が増え、多くの活動が生まれるようになった。外来魚を駆除する池干しや、日頃の清掃活動。初夏のこの時期は、草刈りも2週間に一度のペースでないと追いつかない。大変な作業だ。

「宇宙科学館に来た人も、周りをちよっと歩いてほしい。何にも

ないけど、歩くと分かる。豊かな資源がそこらじゅうに転がっている」

保養村の自然を守りたい。子どもたちの遊び場にしたい。宮崎さんをはじめ保養村会のメンバーの思いは、未来の子どもたちに向けられている。小さな蛍に目を輝かせ、緑いっぱい公園で駆け回る子どもたちの笑い声が、今日も自然を守り未来へとつながる人々の原動力となる。

3地域と近隣施設、皆で協力して保全しています!



永島・溝ノ上・花島の3つの地域で構成される保養村協会のメンバー。左から、大宅さん・山下さん・中尾さん